

「自己に忠実に」

他人との真の関わりを持つためには、私たち自身がまず真実に生きていなければならない。自己の真実に忠実に生きることは、行動することによってのみ真実性が確保できる。その真実の場において、私たちは他人との真の関わりを持つことができるのである。

(いのちの言葉 日野原 重明 より)

今年は梅雨前線の停滞に伴い大雨が長く続いており湿度の高い日も多く蒸し暑さと憂鬱さで一層の過ごしずらさを感じる日々ではありますが 神に感謝し星に願いを託す七夕の物語は実に耽美です。7月7日に降る雨のことを催涙雨と呼び逢えなかった分の嘆き・再会した喜び・別れの涙だと言われています。こんな浪漫のある夜空をゆっくり見上げ、雨の日には雨音を聞きながら幻想的な世界を愉しむのもいいですね。

私たちは、日々過ごす中で他人からの評価を得ることを期待したり、上辺だけを取り繕いよく見せようとしてしまい、そのため周囲の意見に縛られ行動に移せなかったり、無理だと諦め後悔してしまうこともあります。まずは、自分自身と向き合い真の自分を知ることが大切です。自分の心に決めた思いや信念を軸として歩むことにより、これまでの思考を力に変え、おのずと態度に現れてくるのだと思います。そして、その軸に基づく行動には一貫性が生まれ、また意志を持った選択の積み重ねや決めたことをやり遂げる強さへと繋がっていきます。その姿は人を引き付けるだけでなく、他者から自分もそうありたいと思わせる魅力へと繋がり尊敬や信頼関係を得られ、より良い関わりができるのだと思います。もっと知りたい、こんなことをやりたいという興味関心から始まる活動は探究心をくすぐり、自ら考え判断し責任を持って行動する力を育てていきます。出来なかったことも受け入れ認めてもらいながら安心して体験できるような環境作りを行っていきたくと思います。

クレイシュ保育園 園長 小清水 幸子

職員一同

7月聖句
今日を喜び祝い、喜び躍ろう。

詩編 118編24

7月主題

「きもちいいね」0歳

- ・保育者の祈りとさんびかに親しむ。
- ・食事・睡眠を十分にとり、健康に過ごす。
- ・温水遊びや沐浴を通して、水の心地よさを感じ楽しむ。

1・2歳

- ・保育者と一緒にさんびかを歌う。
- ・土や砂、水などに触れて感触を知り楽しむ。
- ・保育者の関わりによって自分の思いを知る。

～子どもたちの姿～

紫陽花の花が少しずつ色付き、梅雨の気配を感じる時期となりました。子どもたちは、急に降り出した雨音に気付き「何か聞こえるね」と耳を澄ましながら「ぼちゃぼちゃって言ってる」「ぼつぼつだよ」と聞こえてくる音を自分の言葉で表現する姿が見られました。私たちの身の回りには自然や乗り物、遊んでいる時など様々な音が溢れています。今年度は「音」をテーマに、聴覚とその他の五感(視覚・触覚・嗅覚・味覚)を結びつけた活動を取り入れながら言葉や表情、身体で表現し発見する楽しさや喜びから興味関心を持ち、見たり考えたりしながら遊びを膨らませていきたいと思えます。ファミリーデーでは、散歩で見つけた枝や木の実などを箱の中に入れてありがたの気持ちを込めてプレゼントを作りました。ご家庭でも一緒に耳を傾け音に親しんで頂けたらと思います。



	月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4	5
7月の予定表	6	7	8	9	10	11	12
		プール開き		身体測定			
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
		避難訓練		誕生日会	海の日	スポーツの日	
27	28	29	30	31			
					クレイシュ通信		

◎水遊びも始まり薄着になることも多くなり、けが防止のため爪の長さ確認を毎朝お願いいたします。
◎汗を拭くタオルの持参をよろしくお願ひします。